

管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

指揮:

三ツ橋敬子

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・パドロッテ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾り、その堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。



©Earl Ross

司会:

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院オペラ科修了。これまでに数多くの演奏会やオペラ、ミュージカルに出演。ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作にも携わる。2015年よりBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして出演、司会やナレーションも務める。また論語指導士の資格を取得し子ども論語ワークショップを開催。ジャンルを越えて活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。



月 日 ()

学校

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



知っていますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程	開催校
9月13日(月)	東松島市立鳴瀬桜華小学校
9月14日(火)	栗原市立高清水小学校
9月15日(水)	横手市立吉田小学校(会場:横手市民会館)
9月17日(金)	盛岡市立太田小学校



イラスト:こやまけいこ

「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

★ 月 日のワークショップから、
みんなで準備してきました

★ 顔が見えるほど
近い距離で東京フィルを
聴けてよかった!



オーケストラの楽器もご紹介。



「ア〜〜ウ!」
ボディパーカッションで
音楽に合わせてポーズ!

ボディパーカッション、
きちんと練習して
おきたいと思います!



みんなで歌詞を
考えました。



先生も歌詞を考えます。

コンサートは80名の
フルオーケストラ……
今からとても楽しみです!



そして今日!

速さにびっくり!
きれいな音でびっくり!
大迫力にびっくり!

東京フィルがやってきた!

プログラム

ロッシェニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

- ・オーケストラの楽器、紹介します(楽器紹介コーナー)
- ・指揮者になってみよう!(指揮体験コーナー)

ブラームス: ハンガリー舞曲第5番



みんなで鳴らそう!

- ・シャーマン兄弟: 小さな世界
- ・ベートーヴェン: 交響曲第5番『運命』第1楽章より

みんなで歌おう!

- ・シベリウス: 交響詩『フィンランディア』
- ・校歌



解説

文: 柴田克彦

ロッシェニ(1792-1868):
歌劇『ウィリアム・テル』
序曲より
「スイス軍の行進」

イタリアの作曲家ロッシェニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍をえがいたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗ってかけていくような行進曲が、さっそうとくり広げられます。

ベートーヴェン(1770-1827):
交響曲第5番『運命』
第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャー”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう!

シベリウス(1865-1957):
交響詩
『フィンランディア』

フィンランドの作曲家シベリウスが書いた、熱く力強い作品。ほかの国に支配されてきた国民の心を大いに勇気づけたこの曲は、フィンランドの第2の国歌として愛されるようになりました。美しい中間部には、いくつかの歌詞が付けられていますが、今回は、みんなで作ったオリジナルの歌詞で気持ちを込めていっしょに歌いましょう。

みんなで鳴らそう!
ボディパーカッション

ロック
のリズム



ラテン
のリズム



日本
のリズム



みんなで歌おう!
フィンランディア

みんなで考えた歌詞で
オーケストラと大合唱



……クラシックはどんなふうに表現するかな?
『運命』をいっしょにやってみよう!



キーワードをたくさん出して
歌詞を作りました

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル

検索

©上野隆文

指揮



©三浦興一

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。

東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。

N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

司会



相田 麻純

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位。

月 日()

学校

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演

東京フィルが やってきました!



知っていますか?



10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程

開催校

11月15日(月) 大崎市立古川西中学校

メインイラスト：タカハシマホ

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

一月一日の
ワークショップからみんなで
準備してきました



ワークショップ、オープニングの様子。
少ない人数で迫力ある演奏に釘付け!



弦楽器代表「ヴァイオリン」。
音の出る仕組みを学びます。



管楽器代表「ホルン」。
奥深い音色にうっとりです!



打楽器奏者は色々な楽器を演奏します。ワーク
ショップでは音楽室の楽器を借用しました!



ワークショップでは「第九」の
合唱をドイツ語で歌う練習を
しました。



また、本公演で会おうね!
歌の練習頑張ってるね!



今日、いよいよ本番です!

プログラム Program

▶オープニング

♫ ロッシーニ 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より
“スイス軍の行進”

▶楽器紹介

♫ ロジャース 『サウンド・オブ・ミュージック』より
ドレミの歌

▶指揮体験

♫ ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』
第1楽章より

▶オーケストラと身体を動かしてみよう!

藤山一郎 新しい朝が来た
服部 正 ラジオ体操第一

▶「第九」を歌おう!

♫ ベートーヴェン 交響曲第9番『合唱付き』
第4楽章より

♫ 各校校歌の演奏

♫ ヴェルディ 歌劇『アイーダ』より“凱進行進曲”

曲について Program Notes

解説=柴田克彦



ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868)
歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、さっそうと繰り広げられます。



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)
交響曲第9番『合唱付き』第4楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェンが1824年に完成したこの曲は、オーケストラ音楽だった交響曲に歌を取り入れたユニークな作品。“苦しみから喜びへ”というテーマが大きなスケールで描かれています。声楽が加わる第4楽章は、“人間愛による平和”を歌った有名な部分。メインの旋律は「喜びの歌」の名で親しまれています。



ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901)
歌劇『アイーダ』より“凱進行進曲”

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの將軍ラダメスらが皆に迎えられる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。

第九について About Beethoven's Symphony No. 9

解説=鉢村 優

「第九」が日本で初めて全曲演奏されたのは第一次世界大戦中、徳島県にあるドイツ人捕虜収容所でのこと。また、第二次世界大戦後、東西に分断されていたドイツが統一された際にも「第九」は演奏されました。かつて敵としていがみ合った人々が声を合わせて歌い、共に耳を傾けることで、同じ地球に生きる仲間として認めあったのです。このように「第九」は、バラバラになった人々の心をつなぎ、平和を願う音楽として歌い継がれてきました。人種も、生まれも、考え方も関係なく、友愛に満ちた世界を作ろう。「第九」は今も私たちにそう呼びかけています。

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル

検索

©上野隆文

指揮



©三浦興一

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。

東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。

N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

司会



相田 麻純

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位。

知っていますか?

10月1日は「国際音楽の日」です



1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程

開催校

11月16日(火) 気仙沼市立面瀬中学校

11月17日(水) 一関市立東山中学校

メインイラスト：タカハシマホ

月 日()

学校

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演

東京フィルが やってきました!



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

一月一日の
ワークショップ映像をみて
みんなで準備してきました



ワークショップ、オープニングの様子。
少ない人数で迫力ある演奏に釘付け!



弦楽器代表「ヴァイオリン」。
音の出る仕組みを学びます。



管楽器代表「ホルン」。
奥深い音色にうっとりです!



本公演で会おうね!



今日、いよいよ本番です!

プログラム Program

▶オープニング

ロッシェーニ
歌劇『ウィリアム・テル』序曲より
“スイス軍の行進”

▶楽器紹介

ロジャース
『サウンド・オブ・ミュージック』より
ドレミの歌

▶指揮体験

ブラームス
ハンガリー舞曲第5番

▶オーケストラと身体を動かしてみよう!

藤山一郎 新しい朝が来た
服部正 ラジオ体操第一

▶みんなで鳴らそう

ベートーヴェン
交響曲第5番『運命』
第1楽章より

校歌の演奏

ヴェルディ
歌劇『アイダ』より
“凱進行曲”

曲について Program Notes

解説=柴田克彦

ジョアキーノ・ロッシェーニ (1792-1868)
歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

イタリアの作曲家ロッシェーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、さっそうと繰り広げられます。



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)
交響曲第5番『運命』第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャーン”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう!



ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901)
歌劇『アイダ』より“凱進行曲”

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの将軍ラダメスらが皆に迎えられる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。



管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

指揮:

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スイトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。



©三浦興一

司会:

相田麻純

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位。



月 日 ()

学校

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



知っていますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程 開催校
11月18日(木) 東松島市立鳴瀬桜華小学校

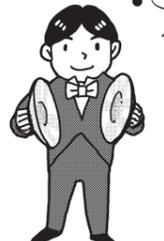


イラスト:こやまけいこ

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

★ 月 日のワークショップから、
みんなで準備してきました

かみ 顔が見えるほど
近距離で東京フィルを
聴けてよかった!



オーケストラの楽器もご紹介。



「ア〜〜ウ!」
ボディパーカッションで
音楽に合わせてポーズ!

ボディパーカッション、
きちんと練習して
おきたいと思います!



みんなで歌詞を
考えました。



先生も歌詞を考えます。

コンサートは80名の
フルオーケストラ……
今からとても楽しみです!



そして今日!

速さにびっくり!
きれいな音でびっくり!
大迫力にびっくり!

東京フィルがやってきた!

プログラム

ロッシェニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

- ・オーケストラの楽器、紹介します(楽器紹介コーナー)
- ・指揮者になってみよう!(指揮体験コーナー)

ブラームス: ハンガリー舞曲第5番



みんなで鳴らそう!

シャーマン兄弟: 小さな世界

ベートーヴェン: 交響曲第5番『運命』第1楽章より

シベリウス: 交響詩『フィンランディア』

校歌



解説

文: 柴田克彦

ロッシェニ(1792-1868):
歌劇『ウィリアム・テル』
序曲より
「スイス軍の行進」

イタリアの作曲家ロッシェニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍をえがいたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗ってかけていくような行進曲が、さっそうとくり広げられます。

ベートーヴェン(1770-1827):
交響曲第5番『運命』
第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャー”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう!

シベリウス(1865-1957):
交響詩
『フィンランディア』

フィンランドの作曲家シベリウスが書いた、熱く力強い作品。ほかの国に支配されてきた国民の心を大いに勇気づけたこの曲は、フィンランドの第2の国歌として愛されるようになりました。美しい中間部には、いくつかの歌詞が付けられていますが、今回は、みんなで作ったオリジナルの歌詞で気持ちを込めていっしょに歌いましょう。

みんなで鳴らそう!
ボディパーカッション

ロック
のリズム



ラテン
のリズム



日本
のリズム



みんなで歌おう!
フィンランディア

みんなで考えた歌詞で
オーケストラと大合唱



……クラシックはどんなふうに表現するかな?
『運命』をいっしょにやってみよう!



キーワードをたくさん出して
歌詞を作りました